



# 東京2020オリンピック

我が国で57年ぶりとなる東京2020オリンピックが、7月23日いよいよ開幕します。今回は55種目の競技が行われますが、優勝が期待される女子ソフトボールには、常葉菊川高校出身の渥美万奈選手と山崎早紀選手



渥美 万奈 選手  
Mana Atsumi (内野手)

## スポーツの力で皆さんに元気や勇気を 伝えられるよう全力でプレーします

菊川市民の皆さん、ソフトボール日本代表の渥美です。小さい頃からの夢であるオリンピックに出場できることをうれしく思うとともに、これまでたくさんの方に支えられ、ここまでソフトボールを続けてこられたことに感謝したいと思います。

昨年は私自身も新型コロナウイルスの影響で、大好きなソフトボールができない時期もありました。しかし、必ず終息する、ソフトボールができるようになる信じて毎日トレーニングを続けてきました。

東京オリンピックでは、このコロナ禍という中での開催ではありますが、スポーツの力で皆さんに元気や勇気を伝えられるよう全力でプレーをしたいと思います！ご声援のほど、よろしくお願いいたします。



山崎 早紀 選手  
Saki Yamazaki (外野手)

## 1番良い色のメダルを獲得できるように 精一杯頑張ります

菊川市民の皆さん、ソフトボール日本代表の山崎です。皆さんも、新型コロナウイルスの影響で制限された日々を送っていることと思いますが、私はこの小さな努力の積み重ねが、コロナを終息させるためにはとても大切なことだと思っています。今を乗り越え一緒に明るい未来を迎えましょう！

いよいよ東京五輪ソフトボール競技が、7月21日(水)に福島県あづま球場で開幕します。開会式の2日前に実施され、全種目の中で1番最初の競技となります。どんな状況でも最高のパフォーマンスをするために準備をしてきたので、1番良い色のメダルを獲得できるように精一杯頑張りたいと思います。そして、私たちのプレーを通じてソフトボールの魅力を感じていただけたらと思います。熱いご声援をよろしくお願いいたします。

写真提供：(公財)日本ソフトボール協会

**走り終わった感想**  
コロナ禍でどのようなモチベーションで走ったらよいか戸惑っていましたが、現場に立って沿道の皆さんからたくさん笑顔と応援をいただき、感謝とともに楽しんで走ることができました。貴重な経験をさせていただきありがとうございます。

**聖火リレーに応募したきっかけ**  
私は15年前に白血病の治療のため、骨髄移植を行いました。骨髄を提供してくださったドナーさんとは直接会うことも話すこともできないので、私に骨髄提供をしてくださったドナーさんへの感謝を伝えるためにどうしたらよいか考え、行動で感謝を伝えていこうと、骨髄バンクのボランティアを始めました。また、入院中に移植したくてもドナーさんがないというお話も聞くことがあり、一人でも多くの患者さんにドナーが見つかってほしいという思いでいました。  
そうした中、聖火リレー走者の募集を目にし、私が走ることで多くの方に骨髄バンクについて関心を持っていただければと考え、応募しました。



後藤 菜都美 さん  
第7区間 島田市 茶畑